

科目区分	専門分野 I	科目名	看護学概論	対象学生	第1学年																																													
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期																																													
担当講師	山田 円(臨床経験12年、教育経験21年)																																																	
科目目標	1. 看護の定義、看護の目的と対象、看護の概念について学習し、看護とは何かを探求し理解する。 2. 看護学を構成する主要概念である人間、健康、環境、生活、看護について学習し看護学の概要を理解する。 3. 社会の変遷と看護の発展について学び、専門職としての活動の発展について理解する。 4. 保健医療福祉チームの構成員としての看護の役割を理解する。 5. 看護倫理の基本的な考え方を理解し、尊厳を守る看護のあり方を学ぶ。																																																	
授業概要	<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>看護の本質 1. 看護の変遷 2. 看護の定義</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>ナイチンゲールから学ぶ 1. ナイチンゲールの看護に対する考え方</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>看護理論家にみる看護の定義 1. ヘンダーソンの看護に対する考え方 2. 理論家による看護のとらえ方</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>看護とは 1. 看護の役割と機能 2. 看護の継続性と連携</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>看護の対象の理解 1. 人間のこころとからだを知ることの意味</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>看護の対象の理解 3. 生涯発達しつづける存在としての人間理解 4. 人間の暮らしの理解</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>国民の健康状態と生活 1. 健康のとらえ方 2. 国民の健康状態</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>国民の健康状態と生活 3. 国民のライフサイクル</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>看護の提供者 1. 職業としての看護 2. 看護職の資格・養成制度・就業状況</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>看護の提供者 3. 看護職者の継続教育とキャリア開発 4. 看護職の養成制度の課題</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>看護における倫理 1. 現代社会と倫理 2. 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>看護における倫理 3. 看護実践における倫理問題への取り組み</td> <td>(講義・GW)</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>倫理的問題を考える 事例検討</td> <td>(GW)</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>倫理的問題を考える 事例検討</td> <td>(GW)</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>倫理的問題を考える 看護における倫理(まとめ):1H 終了試験:1H</td> <td>(講義)</td> </tr> </table>					第1回	看護の本質 1. 看護の変遷 2. 看護の定義	(講義・GW)	第2回	ナイチンゲールから学ぶ 1. ナイチンゲールの看護に対する考え方	(講義・GW)	第3回	看護理論家にみる看護の定義 1. ヘンダーソンの看護に対する考え方 2. 理論家による看護のとらえ方	(講義・GW)	第4回	看護とは 1. 看護の役割と機能 2. 看護の継続性と連携	(講義・GW)	第5回	看護の対象の理解 1. 人間のこころとからだを知ることの意味	(講義・GW)	第6回	看護の対象の理解 3. 生涯発達しつづける存在としての人間理解 4. 人間の暮らしの理解	(講義・GW)	第7回	国民の健康状態と生活 1. 健康のとらえ方 2. 国民の健康状態	(講義・GW)	第8回	国民の健康状態と生活 3. 国民のライフサイクル	(講義・GW)	第9回	看護の提供者 1. 職業としての看護 2. 看護職の資格・養成制度・就業状況	(講義・GW)	第10回	看護の提供者 3. 看護職者の継続教育とキャリア開発 4. 看護職の養成制度の課題	(講義・GW)	第11回	看護における倫理 1. 現代社会と倫理 2. 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理	(講義・GW)	第12回	看護における倫理 3. 看護実践における倫理問題への取り組み	(講義・GW)	第13回	倫理的問題を考える 事例検討	(GW)	第14回	倫理的問題を考える 事例検討	(GW)	第15回	倫理的問題を考える 看護における倫理(まとめ):1H 終了試験:1H	(講義)
第1回	看護の本質 1. 看護の変遷 2. 看護の定義	(講義・GW)																																																
第2回	ナイチンゲールから学ぶ 1. ナイチンゲールの看護に対する考え方	(講義・GW)																																																
第3回	看護理論家にみる看護の定義 1. ヘンダーソンの看護に対する考え方 2. 理論家による看護のとらえ方	(講義・GW)																																																
第4回	看護とは 1. 看護の役割と機能 2. 看護の継続性と連携	(講義・GW)																																																
第5回	看護の対象の理解 1. 人間のこころとからだを知ることの意味	(講義・GW)																																																
第6回	看護の対象の理解 3. 生涯発達しつづける存在としての人間理解 4. 人間の暮らしの理解	(講義・GW)																																																
第7回	国民の健康状態と生活 1. 健康のとらえ方 2. 国民の健康状態	(講義・GW)																																																
第8回	国民の健康状態と生活 3. 国民のライフサイクル	(講義・GW)																																																
第9回	看護の提供者 1. 職業としての看護 2. 看護職の資格・養成制度・就業状況	(講義・GW)																																																
第10回	看護の提供者 3. 看護職者の継続教育とキャリア開発 4. 看護職の養成制度の課題	(講義・GW)																																																
第11回	看護における倫理 1. 現代社会と倫理 2. 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理	(講義・GW)																																																
第12回	看護における倫理 3. 看護実践における倫理問題への取り組み	(講義・GW)																																																
第13回	倫理的問題を考える 事例検討	(GW)																																																
第14回	倫理的問題を考える 事例検討	(GW)																																																
第15回	倫理的問題を考える 看護における倫理(まとめ):1H 終了試験:1H	(講義)																																																
看護師国家試験出題基準	<p>看護の定義、役割と機能、職業としての看護、学問としての看護、医療の倫理原則、患者の権利と擁護 自己決定権と患者の意思、個人の尊重、基本的欲求、社会的欲求、看護チーム、関連する職種 チーム医療、看護の役割、チームカンファレンス、チームアプローチ、多職種間の連携と協働 看護の継続性、看護職間の連携と協働、看護の対象との協働、クリティカルシンキング、EBN、退院調整 施設内・施設間における継続看護、情報伝達と共有・管理、保健・医療・福祉の連携を支えるしくみ 保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割・活動、看護の質保証、説明責任、内部環境の恒常性 全体としての人間、成長発達する存在、ニーズをもつ存在、生活を営む存在、適応する存在 身体の発育、社会・文化的存在、アイデンティティの確立、ライフサイクルと発達課題、社会性の発達 社会的責任と役割、心理社会的変化、家族関係、家族の多様性、死の受容、疾病・障害の受容 疾病が患者・家族に与える心理社会的影響、健康の定義、健康の諸相、健康への影響要因 プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション、食事・栄養、睡眠、運動、喫煙、人口動向、労働人口 年齢別人口、将来推計人口、有訴者の状況、受療行動・受療率、入院期間、外来受診状況</p>																																																	

科目区分	専門分野 I	科目名	看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	山田 円(臨床経験12年、教育経験21年)				

看護師国家試験出題基準

ワーク・ライフ・バランス、ライフサイクル、ライフスタイル、世帯数、婚姻・家族形態、家族構成員構成員の変化、出生と死亡の動向、死産・周産期死亡、乳児死亡、死因の概要、平均余命、平均寿命健康寿命、少子化、ニーズ、職業と疾病、労働環境・雇用形態、ストレス、メンタルヘルス、生殖QOLの維持と向上、健康や疾病に対する意識、生活習慣とセルフケア、生活習慣病の概念
 看護師の労働安全衛生、看護の変遷、看護制度の変遷、看護教育制度の変遷、養成制度、守秘義務
 保健師・助産師・看護師の業務、看護師に禁止されている業務、就業状況、上司との関係、継続教育
 キャリア開発、ナースセンター、認定看護師・専門看護師の資格と活動、保健師助産師看護師法
 特定行為に係る看護師の研修制度、基本的人権、世界人権宣言、個人の尊厳、倫理綱領
 倫理的葛藤と対応、看護職の役割、倫理的配慮、倫理原則、インフォームド・コンセント、同僚との関係
 情報管理・個人情報保護、組織の中での役割

授業の進め方

テキスト、及び配布した資料に基づき講義を実施する。
 グループワークを実施し、学習を深めていく。

履修のポイント・留意事項

学習範囲が広いので、復習しながら知識の定着を図ると、学習の効率があがる。
 知識の確認チェックを実施しながら進めていく。
 グループワークでは、意見を述べ、リーダーシップ・メンバーシップを発揮し、主体的に参画する。
 夏季休業時には課題レポートの作成をおこなう。

テキスト

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院
 看護覚え書 現代社
 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会
 看護者の基本的責務 日本看護協会出版会

評価方法・配点

終了試験:筆記試験(80%)
 課題レポート(20%)
 ※終了試験、課題レポート、授業への取り組み状況等、総合的に評価する。